

【編集後記】

[墨田班]

皆さん、たいへんお疲れ様でした。なんとか、終了してほんとによかったです。

対象地域が古い中小企業密集の下町で、高度経済成長以降の日本を底辺で支えてきていたところだけに、苦労話を聞くことが多く、複雑な気持ちになることがしばしばありました。印象深かったのは「息子さんに後継ぎになってほしいか」という質問をしたとき、おじさんが「そりゃそうだよ」と大声で言われた時だった。零細企業を営んでいる父のことを思い出した。「後継者問題は深刻だ」などと言いながら、「自分だって所詮、今時の若者か」と思ったものでした。

1年間、先生、ゼミのみんな、ヒアリングに協力してくれた方、月並みですが、ありがとうございました。
上田 東大

今これを書いている時点で、完成するのかどうか不安という状態なのです。まったく充実感をおぼえることができていません。が、これが読まれているということは何らかの形になっているということなのでしょう。よかったよかった。

就職活動を挟んだおかげで、半年以上完成が先送りになりました。やっぱり当初の計画って奴が大事ですよ。もし3年生がこれを読んでいたら、「でだしが肝心」という言葉を肝に銘じて頑張ってください。
大井 秀一

一年間の調査を通して、たくさん学びました。まず、調査のため、下町を歩き、住民と接し、その光景や生活に実際に触れること、そして行政の方々と会見する事は、大変貴重な体験でした。そのほか、普段日本で生活をしていても知る事の出来ない日本の歴史、過去の出来事をもより深く知る事が出来たのです。

浦野先生、そしてゼミの皆は、日本語のハンディキャップを持つ私に対して、いつも親切に接してくださって、社会学の勉強と共に日本語の勉強にもなりました。最後に、調査の結果が本になることを嬉しく思います。
クーエンニー

なんだかんだ言っても楽しいゼミでした。またみんなで合宿しましょう。もちろん茂原か伊東でだよ。
千原 羊子

1年間の交換留学から帰国し後期から復学したため、ゼミに「参加」しているという気分どうしてもなれませんでした。きちんとコミットできず、浦野先生やゼミの皆さんには大変ご迷惑をおかけしました。

このゼミを通して学んだことは、実際に現場を訪れることの大切さでした。卒論執筆にあたってもその教訓(?)を活かし、夏休みにタイへの研修旅行をしました。これからも、「現場」の大切さを忘れずにやっていくつもりです。

皆さん、お疲れさまでした。
三宅 周

お忙しい中ヒアリングに協力して下さった皆様、ご指導いただいた浦野教授、どうもありがとうございました。ゼミのみなさんお疲れさまでした。

“in te redi; in interiore homine habitat veritas.”

山中 瑞樹

今、非常に悩んでいます。何かおもしろいことを書かなくては、という使命感というか、プレッシャーのような感情に悩んでいるのです。

以上のように悩みの多い一年でありました。ヒアリング時のアポとりで対象地以外の人と約束してしまったり、約束の時間を忘れてしまったりと、迷惑をかけてしまった皆様方に、深くお詫び申し上げます。以上

山本 祐司

[大田班]

初めて社会調査というのをやって、とても大変でした。特にヒアリング。(むこうにして見たらただの学生の遊びにしか見えないんだろうなぁー)とか考えてしまうと、ヒアリングのアポ取った後で逃げ出したくなったこともありました。でもいざ会ってみると皆さんとてもいいかたで、いろんな意味でいい勉強になりました。とても楽しくできました。皆さん、特に大田班のうるさい女の子達、いろいろお世話になりました。ありがとう。

泉 博之

為せば成る。が、人間には限界がある。

でも、その限界は自分が思っているより、ずっと先にあるんだよ、
ということ、97年度に学びました。

中村早苗

いろんな意味で長かった…。

みんなと一緒にいる時間も長くて、苦楽をともにした良い“仲間”と呼べるようになったと思う。ほんと、お疲れさま。

最後に、大田区の皆さんありがとうございました。

岡本綾乃

産業プラザ前の団子屋に始まり、麻里お、区役所の近くの定食屋、等々ホントにグルメな(?)実習でした。普段、電車で通りすぎることしかなかった街に、いろいろな人が生きて、いろいろな時代を築きあげてきたということ。みんなと一緒にいたから頑張れました。やっとおいしいお酒が飲めるね。

安田朱里

毎度の事ながら、ただひたすらヘラヘラしているだけの私。たまに口を開けば、「大森にいいようなお店が... 休憩がてら行かないかい？」なーんてことばかり... 大田班のみんなには大変な苦勞をかけてしまいました。ほんとにごめんね。みんなの議論を聞きながら、苦悩しつつも頑張る姿ってステキだわー... とか思ったりしていました。

みんなには本当に感謝しています。ありがとう！打ち上げが楽しみ...!

武藤英里

出来上がった原稿を手にしてまず思ったこと。それは「ここまでくるのにいろいろと大変だったな」ということ。全員でテーマや調査対象地を決め、それからグループに分かれての相談など、本当にたくさんの事をみんなで決めてきたのだなと感じました。

大学に入って、のほほんと過ごしていた私の唯一大変だったと言えるのが、この浦野ゼミだったと思います。ありがとうございました。

石井好子

[新宿・文京班]

商店街を一軒一軒まわってインタビューしたことが、一番思い出深いです。仮定していた結論に辿り着けなかったり、数値が載っている文献を探したりと大変なことも多かったけれど、振り返れば大学生活で一番力を入れて勉強したのかもしれませんが。ゼミの皆様、長い間ありがとうございました。お疲れ様。
古畑 朋子

なかなかみんなの都合が合わせられないので、短期集中型の合宿や集中授業という形で、朝から晩まで話し合いをしたことが、今となっては懐かしい・・・かな。(当時は気が狂うかと思ったけど。)研究の方は四苦八苦だったけど、みんな Clever で、イベント好きで、いい member でした。
三宅 美樹

本当に本当に難しすぎる内容でした。でも、ゼミのみんなからはいろいろな面で助けられ、いろいろなことを学ぶことができました。きっと、ずっとずっと忘れないいい経験になったと思います。みんな、ありがとうございました。
森田 博子

こんなに日本語で苦労した事は今まで、いやこれからも無いと思う(クー・エンニさんもそう思うでしょうが)。一生懸命やるつもりだったけど、みんなの足を引っ張るばかりで、みんなには申し訳無い事だらけ。こんな私に優しくしてくれた皆に本当に感謝したい。お陰様で歌の事も順調。応援してくれてありがとう。皆さん。1年間、お疲れ様でした。
李 政勲

どうにか報告書を完成することができて、本当に嬉しいです。本当に、本当に、嬉しいです。終わって本当に良かったね。浦野先生、ゼミの皆様、色々ご迷惑をおかけしました。大変だったけれど、良い思い出になりました。お疲れ様でした。
菊地 英理子

調査を重ねるにつれて、印刷業の人々の考え方が次第に移ってくるような感覚があり、学生風情とはいえ、社会の一端を垣間見る得がたい経験をした。ゼミのために力を尽くしたみんなに感謝したい。
高橋 雅也

本当に難しく大変なことだらけでした。その分、このゼミは大学時代の大切な思い出のひとつになると思います。ゼミの皆様にはいろいろ迷惑をかけ、助けてもらい、感謝しています。皆さん、お疲れ様でした。
居城 志織

= = m4zt;q

、 "